

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 22日

事業所名 音楽なかまプリモ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		ご利用者数、活動の内容に合わせたスペースを確保しております。	
	2 職員の配置数は適切である	○		体制のさらなる強化のため、職員の募集を継続しております。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		ご利用の皆様へ配慮した環境整備をいたしております。	今後も必要な設備についての検討を継続していく。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的に行っている職員ミーティングをさらに有意義に活用できるよう努めております。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		今後も保護者の皆様のご意見、要望に応えられるよう努めてまいります。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページ及び、所内掲示にて公開しております。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		外部講師による評価、指導を受けることで、現在のサービスの内容を検証し、さらなる改善を目指しております。	職員が希望する外部講師を呼び、更なる改善に努めていく。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に、外部講師を招いての研修会を実施し、職員全員で受講しております。今後も資質向上を目指し、継続してまいります。	研修のオンライン化を検討していく。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		お子様、保護者の皆様のニーズや課題に対応した計画を作成しております。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		お子様の状況の的確な把握に努めております。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		チーム内で検討し、より質の高いプログラムの立案を目指しております。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動プログラムには、積極的に季節感やお子様のご希望を取り入れ、プログラムが固定化しないよう工夫しております。	お子様の興味が移ろいやすいため、季節によらず積極的にプログラムの更新を検討していく。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		お子様の状態の変化に随時対応し、目標設定と評価、支援を行っております。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		お子様の状況、保護者の方のご要望に対応した計画作成に努めております。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		打合せにおいては役割分担の他、お子様の最新の状況についての情報共有を行っております。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		より質の高い支援のため、状況を共有し、今後の対応について確認しております。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録の徹底、お子様の状況の共有に努めております。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的他、必要と思われる場合は随時計画の見直しについて検討しております。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		地域交流の機会を増やすなどの改善を目指してまいります。		
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		お子様の状況を把握している者が出席しております。		

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		連絡調整に不備が発生しない体制整備にも留意しております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		保護者様を通じて、情報を共有し、体制をさらに整えてまいります。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		より円滑な情報共有ができるよう努めております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		ご要望に応じて対応いたしております。	放課後等デイサービス事業所の退所後に利用できるサービスについての検討を継続していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修の回数を検討する等、連携を強化できるよう努めております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		一緒に活動できる企画等を検討してまいります。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		参加できるよう努めてまいります。	参加のオンライン化を進める。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		保護者様との情報共有のための体制をさらに整えてまいります。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修会等の実施回数を控えました。今後の状況を判断し、研修会実施のご提案、また、保護者の皆様からのご要望に合わせた研修会の実施を検討いたします。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		よりわかりやすい説明を心がけ、疑問点等なくご利用いただけるよう努めております。	説明可能な人員を増やしていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		より積極的な支援を心がけます。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催の回数を控えました。今後の状況を判断し、より参加しやすい会となるよう努めております。	来年度はコロナの状況を注視しつつ、開催について検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		対応の体制整備の他、苦情が発生する状況にならないよう努めております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的に会報を発行しております。また、随時、ホームページ、館内掲示、印刷物配付でのご案内を行っています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		今後も十分な注意を行ってまいります。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		伝達に漏れのないよう、体制を整えてまいります。	引き続き、視覚による説明の提示物を増やしていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		活動の周知や、参加しやすい行事の企画を努めてまいります。	町内会とのアプローチの機会を増やしていく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	保護者の皆様への各マニュアルの周知を進めてまいります。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		例年、年2回(5月・10月)の避難訓練を実施しております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○	職員向けの研修会を実施しております。	虐待防止について、研修を継続して実施し、職員間での意識を高める。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	現在まで身体拘束を行う必要のあるケースはございませんでした。	改めて検討し、適切に対応してまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	保護者からの聞き取りによる内容を職員に周知し、個別に対応しております。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	事例が発生した場合は、事例集に記録、情報共有のうえ、対応策を講じております。	